

第7回 市政報告会



住民に直接、説明をする佐藤市長。

10月16日から11月1日まで各小学校区11ヶ所で開催しました市政報告会は、約500名の方々にご参加をいただきました。

私をはじめ副市長、教育長、各部長が出席し、今年は熊本県阿蘇地域振興局からも土木部長、農林部長に出席していただき、特に災害に関する取り組み等についてご報告致しました。

質疑の時間では、皆様から地域の実情や災害後の復旧について、ご意見やご提案を直接伺うことができました。

そして、市民の皆様が何を望んでいるのかを知ることができ、限られた時間でしたが、有意義な報告会となりました。

(阿蘇市長 佐藤義興)

◆報告の内容

○市の財政状況について

○阿蘇市の災害に関する事業の概要について

○熊本県の阿蘇市における災害に関する事業の概要について

◆各会場での質問と回答

11会場で出された意見や質問及びそれに対する回答について、一部を要約して紹介します。
(順不同)

問 河川の氾濫により住家が被害(床上・床下浸水等)に遭っている。また、橋に流木が詰まり壊れたところがあったので、河川改修や川の流れを考慮した橋を造ってもらいたい。

答 【県地域振興局】同様の被害は他にも多数あった。改修も重要であるが、砂防対策がまだまだ行き届いていない。まずは砂防堰堤を造って流木を止める事が重要と考える。

問 住宅敷地内に流入した土砂の撤去に重機等を使用した、その費用の支払いはいつか。

答 【総務課長】必要書類が揃い次第、随時支払っているの、□座を確認願いたい。

問 波野地区の遊水池について、土砂で満杯になっているので、撤去して欲しい。

答 【経済部長】周辺の災害に係る撤去復旧事業と併せて対応する予定である。

問 水利組合への中山間地直接支払の対象事業については柔軟に対応して欲しい。

答 【経済部長】要望があれば直接支払推進委員会の中で提案をして協議を進め、まずは現状の制度で対応していただきたい。

問 午前4時に避難勧告が発令(放送)されたが、就寝中であり気付く住民はほとんどいなかった。サイレンを鳴らす方法も検討すべきである。

答 【総務部長】防災無線、お知らせ端末は豪雨のため連絡が届きにくかった。今後は事前に地区ごとの土砂災害や浸水等の情報を連絡することも検討したい。

問 内牧もそうだが、今町、黒流町も対策をしてもらいたい。山田地区は一面湖の状態だった。遊水池を2ヶ所造れば良いという問題ではない。昔と雨量や頻度が違う。

答 【県地域振興局】今町地区も当然、河川改修等を行う。平成2年の水害後7つの遊水池を造る計画であったが3つしか出来ていない。小倉の遊水池も

計画を見直して今町側に向けて拡大させる。今後、用地のお願いもあるので、ご協力をお願いしたい。

問 九州電力のダムの上流に極端に狭いところがあるが、それが原因で水が引かないのではないか。現場に行つて検討して欲しい。

答 【県地域振興局】黒川の狭いところについては、振興局としても現地には行っている。

問 鷺の石橋は撤去してあるが、仮橋もできていない。仮橋をかけて撤去することはできないのか。また、橋脚は絶対造らないようにしていただきたい。

答 【土木部長】査定の基準はあるが、できるだけ橋脚がないよう計画する。仮橋も皆様方のご意見を参考にしたい。

問 乙姫川を含めた乙姫地域の上流部について流木の対策をお願いしたい。

答 【県地域振興局】土砂が流れている等の被害状況は確認している。砂防ダムの建設については、スリット等の対策により流木をおさえることが重要と考える。

問 閉校後の小学校の跡地利用について検討してもらいたい。

答 【教育部長】現在、いろんな

方面で検討しているところであり、地域からの要望も踏まえて取り組んでいきたい。

問 東岳川と西岳川の上流から流れ出た流木が橋に溜まり、堰となつて、田畑への被害が発生した。22年前の大水害は教訓として活かされていないのではないのか。

答 【県地域振興局】現地は確認している。22年前の大水害後、検討がなされていなかったことは否めない部分もある。今後は流木等に対応できる橋及び砂防の強化を図る。

問 農地の復旧について、来年の田植え時期に間に合うのとが、熊日新聞に掲載されていたが。

答 【経済部長】来年の植え付けについては、各地区との細かい打合せを行い具体的な対策を検討して行く。

問 山々にある林道や里道が河川となり、今回の災害で人家へと流れ込んだ。河川の整備ではなく、道路等が河川となることについて意見をお伺いしたい。

答 【経済部長】確かに、林地の中は水の排出処理が出来ない箇所がある。現地に出向き、必要であれば早急に対応したい。

問 南山の流木被害、往生岳の大規模な崩落、そして採草放牧地の流出について、災害復旧をお願いしたい。国の直轄事業として復旧事業を行った方が良いのではないのか。

答 【県地域振興局】原野の砂防関係については、別に地元説明会を開催させて欲しい。南山の復旧作業については、県の方で復旧作業を行う。

答 【市長】先日、国直轄で事業を行っていたくよう県に依頼したが聞き入れてもらえなかった。県で事業を行うと言ったことであるが、出来なかったら、国に依頼するということがないようにしていただきたい。そのようなことであれば、最初から国直轄で復旧工事を行えば良いと考える。

問 集落(的石)の上には市有林10haあるが、間伐を行って欲しい。地形的に、前は川、後ろは山であり、災害の際にはどこにも逃げようがない。

答 【総務部長】市有林は市財政課管財係で管理しているので、現状を調査した上で対応する。

問 林地の崩壊が相次いでいる。治山ダムに土砂が堆積し、雨が降ればそのまま流れてくる。治山ダムの堆積物の除去を願う。

答 【経済部長】治山堰堤には確かに土砂や流木が多く堆積している。基本的に、砂防ダムは土砂等の撤去を行うが、治山堰堤については堆積させることによって渓岸の浸食防止を目的としているので土砂の撤去は行わない。現況調査を行い、どのような方法が良いのか検討したい。

問 今回の水害では70haが冠水したと聞く。九州電力黒川第1発電所ダムの説明会も開催されたが、河川行政の責任者は誰なのか。

答 【県地域振興局】河川の管理者は熊本県である。白川水系の計画は国土交通省で進めており、黒川河川の管理は熊本県となっている。九州電力のダムについても、占用物(利水施設)として国土交通省が認可しており、県には権利はない。なお、認可の際に国は県に対し、河川管理者としての意見聴取を行っており、実際の認可は国土交通省となっている。支川については、場所によって、県であったり市であったりする。

問 的石、跡ヶ瀬区の水田の高上げをする場合、一部地域に水田に囲まれた民家(大正橋付近)があるのでそれが心配である。

(次ページにつづく)

嵩上げによって浸かってしま
うのではないか。

【経済部長】農地の嵩上げに
ついては、低い部分が約15ha
あり、地元から要望があつてい
る。関係者との協議は済んでい
て、質問のあった場所について
も聞いている。その辺りも考慮
したうえで水田の嵩上げを計
画している。

【問】集落の上に空谷があり、雨が
降れば原野から雨水が来る。3
月にその場所を農地水のお金
を使って作業を行ったが、その
後水害により押し流され排水
路は潰された。建設課に相談し
たところ、「農地水により地元
でやってくれ」とのことであつ
たが、地元では対応は出来な
い。

【答】【土木部長、建設課長】草刈
り等の維持的なものについて
は農地水で、土砂の除去等につ
いては建設課で対応となる。農
地水でやれるものなのか、土砂
撤去として進めるのか現地の
状況を見たうえで対応したい。

【問】このような災害は誰もが予想
できなかった。いつもであれば
国道57号に逃げる事が出来
たが、今回の場合はどうする事
もできず、的所区はしばらく孤
立した。避難場所は、阿蘇西小

学校体育館であるが、冠水によ
り12日の夕刻まで通れる道が
なかった。地域の人たちの安全
な避難場所を考えて欲しい。

【答】【総務部長】今回の災害を受
け全体的に避難場所や避難経
路を見直す必要があると考え
る。

一方で事前に情報を収集し危
険を感じたら、自ら早目に避難
することも考えていただきた
い。また、避難勧告・避難指示
の前に「避難準備情報」につい
ても対応を進めたい。

【市長】先日、火山防災学の
エキスパートとして有名な池
谷浩氏を迎え、区長さん方・市
議会議員を対象に防災講演会
を実施した。専門家の意見とし
て河川も含めどこをどのよう
に手当てすれば効果があるの
か等意見を求めていきたい。

【問】今回の水害が何故このように
大きな被害となったのか検証
を進める必要がある。九州電力
黒川第1発電所ダムが障害物
となり大きな被害になったも
の考える。ところが、九州電
力によれば今回の雨量、水量は
想定内とのことであった。

また、ダムと水害の因果関係
については現在有識者を交え
調査中とのことであるが、進捗

状況はどうなっているのか。調
査の結果次第ではダムの撤去
も考えられる。河川管理上、熊
本市をはじめとする「下流域を
護るために」という疑念も大き
く残る。

【答】【県地域振興局】今回の浸水
災害について、九州電力でも、
学識経験者を交え検証を進め
ている。県庁河川課でも協議の
場が持たれ、今から検証が進め
られる。ダムの操作マニュアル
は、上流下流域の影響を考え国
土交通省で設定されており、今
回の検証結果を受け再度その
マニュアルを検討する必要が
あると思われる。

【問】遊水池は何の意味もない。そ
れなのにまた造るといふのか。
60億かかると言われているが、
もっと有益な方法もあるはず
である。熊本県は、阿蘇谷を遊
水池化するのではなく、黒川第
1発電所ダムの撤去をすべき
である。

【答】【県地域振興局】地域の意見
として、このような意見がある
ことを本庁に伝える。

【市長】発電所のダム問題に
ついて説明会が行われた際に
九州電力は白川漁協との取り
決めがあると言った。このこと
から火山灰を含んだ水を下流

域に流さないようにするため
に赤瀬ダムを造ったと確信を
得た。

立野ダムの件で大津町・南阿
蘇村等は上京し国土交通省に
対し要望活動に行ったが、阿蘇
市には声かけもなかった。ま
た、国土交通省から意見聴取が
あったので、熊本県を通じて、
「立野ダムは、下流域のための
ダムであり、上流域のことを
考えていないダムである」、「立
野ダムを造っても赤瀬ダムの
件が解決しない限り、前には進
まない」との意見を提出してい
る。国が動くべきであり、それ
以上に県も動くべきである。議
論の場を作っていたきたい。

【問】新聞で白川の河川改修につい
て、110戸の家屋の買収や河
川の掘削、土砂撤去等が載って
いたが、黒川河川について今後
の取り組みはあるのか。

【答】【県地域振興局】黒川につい
ては激特事業により今後5年
間で取り組む。まず黒川に堆積
している土砂を撤去する。遊水
池の建設も計画しているが、浸
水被害の大きかった内牧地区
は宅地の嵩上げ、輪中堤の建
設、河道の拡幅等5年間で事業
費180億円の事業に取り組
む。

問 新たな遊水池を作ると言ったが遊水池は金のかかる割には効果が少ない。3ヶ所で83億円。黒川を拡幅する抜本的な対策が必要である。ダムがある限り被害が出る。ダムの撤去が無理なら河川のバイパスを造る対策は県にあるのか。

答 【県地域振興局】黒川は36kmあるので河川改修は膨大な費用と期間がかかる。内牧遊水池は3年かかっている。無田の遊水池は10年、小野の遊水池は18年かかっている。河川の安全度を一度に上げることはできないが、今回は5年で作る計画である。

また、バイパス（利水）の許可は国土交通省、ダムの規則も国土交通省が行うので、河川管理者として今後九州電力と協議する。

問 乙姫の河川改修は災害前からの継続事業であり、予定どおり実施してもらいたい。雑草が生い茂って堆積したり、また、今回の大雨で河底がえぐられたり、堤防が壊れているところがある。

答 【県地域振興局】乙姫川の河川改修は予定どおり実施する。堆積土砂については災害復旧事業で申請中、雑草の堆積につ

いては河川維持で対応することになる。堤防の根が浮いているところは災害で対応したい。場所が分からないので現場確認をする。

問 黒川第1発電所ダムについて以前は泥上げしていた。土砂を撤去すれば遊水池一つ分にはなるのではないか。河川氾濫を未然に防ぐ手立てをしてもらいたい。

答 【県地域振興局】堰の土砂の堆積は現在測量しているので、その結果で河道の掘削を進めることになる。九州電力とは県庁の河川課が協議する。堰の影響については専門家も入れて検討していくことになる。

問 川幅を広げて河川敷として活用しては。

答 【県地域振興局】阿蘇地域の河川の面整備は進んでいないのが現状である。対策としては、河道整備、遊水池、堤防改修、輪中堤の設置、宅地の高上げを計画している。

問 急傾斜地にある集落のため、今後、ここに住むことについて抵抗を感じている。安全なところにある農地を移転先地としていただき、併せて高上げもお願いしたい。

答 【経済部長】農振除外を含め、阿蘇市としても検討し対応したい。実態をよく把握したうえで、いかに地域に伝えられるものかを検討する。

問 国道57号の滝室坂にトンネルを造ってもらいたい。

答 【市長】トンネルに関しては、知事が言われる以前に、市で要望していた。九州地方整備局の担当者に説明も行い、検討しますとの回答を頂いている。

問 人工林の未整備（間伐等）が土砂崩れの原因ではないか。

答 【県地域振興局】人工林以外の所も多く崩落しているので、人工林が原因とは言いい切れない。間伐については、従前のおり地権者の協力を得ながら県としても進めていきたいと考えている。

問 阿蘇は世界遺産登録を目指しているが、たくさん砂防ダムが造られると登録に影響するのではないか。

答 【県地域振興局】阿蘇は国立公園内であるので、環境省と協議して行うことになる。特別地域は景観に配慮し、なるべく目立たない構造物を造るようになる。治山堰堤については、木製型枠にしてそのまま残す工法とし、普通地域も景観に配慮

したい。

問 八反田の砂防ダム本体には水源（源泉）があるが土砂・流木の撤去はされるのか。いつ枯れるか判らないので早急に対応願いたい。

答 【県地域振興局】国の査定を受けたあと、来年の梅雨期までには全て撤去する予定。水源については現地を確認しながら進めていく。

問 災害後、走り回っていたのは市長だけで議員の姿を見なかった。何をしていたのか。

答 【地元区長】議員からは答えにくいと思うので、私からお話するが、地区の議員も災害直後から現場に駆けつけて頑張ってもらっている。

問 農地復旧と基盤整備を一緒にするとの計画があるが、受益者負担がないようにしたい。

答 【県地域振興局】災害復旧について受益者負担はないが、基盤整備について受益者負担はあるので、負担をどれだけ減らしていくか、その手法も含め検討していく。

●問い合わせ

総務課秘書政策室 ☎22・3111
（お知らせ端末） ☎55・3111